

# 令和5年(2023年)版熊本県推計人口調査結果報告(概要)

【令和5年(2023年)10月1日現在】

1,707,747人(▲10,019人)※カッコ内は前年比の増減数

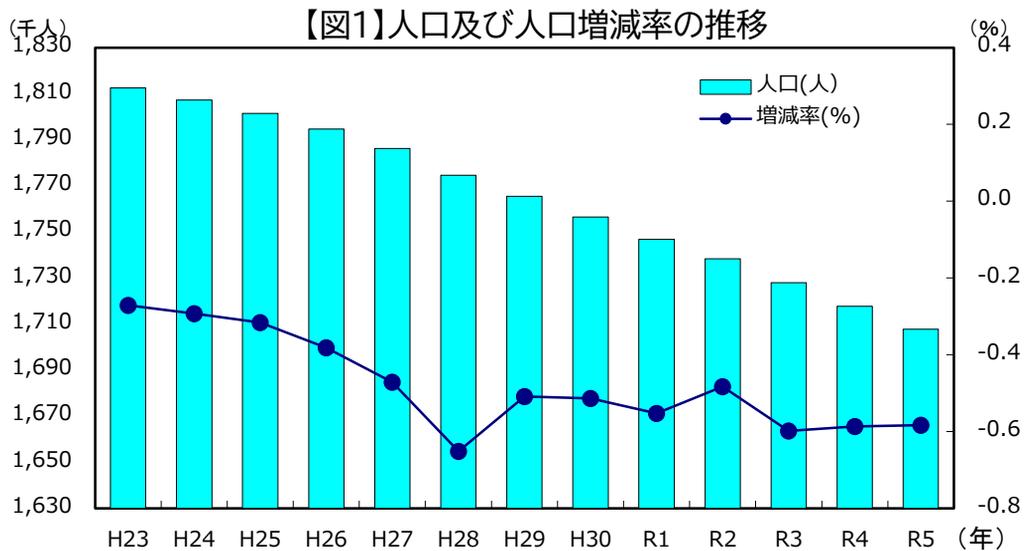
▶男 810,103人(▲3,946人) ▶女 897,644人(▲6,073人)

▶世帯数 736,914世帯(+6,711世帯)

※以下、年のみ表示の場合は、いずれも10月1日現在

## 1 熊本県の人口 - 人口は1,707,747人、前年より10,019人の減少

熊本県の人口は、昭和31年にピーク(1,903千人)を迎え、その後減少～再度増加を経て、平成23年度以降は一貫して減少。令和5年(2023年)10月1日現在の人口は1,707,747人で、令和4年(2022年)10月1日からの1年間で10,019人の減少(人口増減率 ▲0.58%)となり、減少数は令和3年(2021年)10月1日からの1年間の10,136人から117人縮小し、減少率も▲0.59から0.01ポイントの縮小であった。



【表1】人口増減数、増減率の推移

年	人口(人)	男(人)	女(人)	増減数(人)	増減率(%)
H23	1,812,502	851,490	961,012	▲4,924	▲0.27
H24	1,807,201	848,900	958,301	▲5,301	▲0.29
H25	1,801,495	846,786	954,709	▲5,706	▲0.32
H26	1,794,623	843,892	950,731	▲6,872	▲0.38
H27	1,786,170	841,046	945,124	▲8,453	▲0.47
H28	1,774,538	836,250	938,288	▲11,632	▲0.65
H29	1,765,518	833,085	932,433	▲9,020	▲0.51
H30	1,756,442	829,423	927,019	▲9,076	▲0.51
R1	1,746,740	825,456	921,284	▲9,702	▲0.55
R2	1,738,301	822,481	915,820	▲8,439	▲0.48
R3	1,727,902	818,038	909,864	▲10,399	▲0.60
R4	1,717,766	814,049	903,717	▲10,136	▲0.59
R5	1,707,747	810,103	897,644	▲10,019	▲0.58

## 2 人口動態 - 前年よりも自然減は拡大、社会増減は2年連続の

### 転入超過

#### (1)自然動態(出生・死亡による人口の変化)

令和4年(2022年)10月～令和5年(2023年)9月の1年間の自然動態は、出生者11,468人、死亡者24,592人で、自然増減数は▲13,124人となり、前年(▲11,496人)に比べ1,628人拡大した。

#### (2)社会動態(転入・転出による人口の変化)

社会動態は、転入者81,653人、転出者78,548人(県内移動含む)で、社会増減数は+3,105人(前年は+1,360人)となり、2年連続の転入超過となった。

【表2】出生、死亡、自然増減、転入、転出、社会増減の推移(単位:人)

	出生者	死亡者	自然増減	転入者	転出者	社会増減
H23	16,166	20,177	▲ 4,011	65,154	66,067	▲ 913
H24	16,003	20,179	▲ 4,176	64,798	65,923	▲ 1,125
H25	16,241	20,464	▲ 4,223	81,526	83,009	▲ 1,483
H26	15,695	20,334	▲ 4,639	79,859	82,092	▲ 2,233
H27	15,688	20,907	▲ 5,219	79,049	82,335	▲ 3,286
H28	15,230	21,022	▲ 5,792	81,453	87,293	▲ 5,840
H29	14,602	21,592	▲ 6,990	77,431	79,461	▲ 2,030
H30	14,524	21,533	▲ 7,009	79,463	81,530	▲ 2,067
R1	13,712	21,568	▲ 7,856	81,993	83,839	▲ 1,846
R2	13,082	21,297	▲ 8,215	77,509	80,133	▲ 2,624
R3	12,872	21,965	▲ 9,093	74,746	76,052	▲ 1,306
R4	12,185	23,681	▲ 11,496	80,050	78,690	1,360
R5	11,468	24,592	▲ 13,124	81,653	78,548	3,105

本県への転入超過となった都道府県は、長崎県(327人)が最も多く、次いで宮崎県(254人)、広島県・大分県(234人)であった。逆に、本県からの転出超過となった都道府県は、東京都(1,096人)が最も多く、次いで福岡県(874人)、大阪府(228人)であった。

外国を含むその他については、転入8,953人、転出4,386人で、4,567人の転入超過となった。

【表3】熊本県と各都道府県との間の転入出者数(単位:人)

都道府県名	本県への 転入者	本県からの 転出者	差数 (転入-転出)	都道府県名	本県への 転入者	本県からの 転出者	差数 (転入-転出)
01 北海道	423	398	25	26 京都府	361	433	▲ 72
02 青森県	98	50	48	27 大阪府	1,258	1,486	▲ 228
03 岩手県	78	50	28	28 兵庫県	684	702	▲ 18
04 宮城県	146	139	7	29 奈良県	97	122	▲ 25
05 秋田県	20	17	3	30 和歌山県	41	70	▲ 29
06 山形県	85	52	33	31 鳥取県	52	67	▲ 15
07 福島県	100	90	10	32 島根県	96	55	41
08 茨城県	290	295	▲ 5	33 岡山県	240	278	▲ 38
09 栃木県	159	161	▲ 2	34 広島県	831	597	234
10 群馬県	145	228	▲ 83	35 山口県	479	451	28
11 埼玉県	832	966	▲ 134	36 徳島県	62	60	2
12 千葉県	886	872	14	37 香川県	137	120	17
13 東京都	2,413	3,509	▲ 1,096	38 愛媛県	198	157	41
14 神奈川県	1,302	1,504	▲ 202	39 高知県	91	84	7
15 新潟県	84	92	▲ 8	40 福岡県	7,686	8,560	▲ 874
16 富山県	50	59	▲ 9	41 佐賀県	832	888	▲ 56
17 石川県	98	84	14	42 長崎県	1,555	1,228	327
18 福井県	40	48	▲ 8	43 熊本県	—	—	—
19 山梨県	124	83	41	44 大分県	1,576	1,342	234
20 長野県	140	186	▲ 46	45 宮崎県	1,576	1,322	254
21 岐阜県	133	138	▲ 5	46 鹿児島県	2,414	2,381	33
22 静岡県	393	380	13	47 沖縄県	630	680	▲ 50
23 愛知県	1,091	1,131	▲ 40	— その他	8,953	4,386	4,567
24 三重県	315	205	110	熊本県合計	39,517	36,412	3,105
25 滋賀県	223	206	17				

### 3 市町村別人口 - 熊本市及び近郊市町村を除く36市町村で人口減少

令和5年(2023年)10月1日現在の市町村別人口は、熊本市の738,020人(県の人口の43.2%)が最も多く、八代市119,330人(同7.0%)、天草市70,993人(同4.2%)と続き、上位3市で県の人口の半分以上(同54.4%)を占める。

1年間の市町村別の人口増減数では、増加したのが合志市(397人)、益城町(314人)、熊本市(170人)、菊陽町(156人)、御船町(153人)等9市町村で、天草市(▲1,703人)、八代市(▲1,106人)、山鹿市(▲767人)、上天草市(▲765人)、荒尾市(▲707人)等の36市町村は減少した。

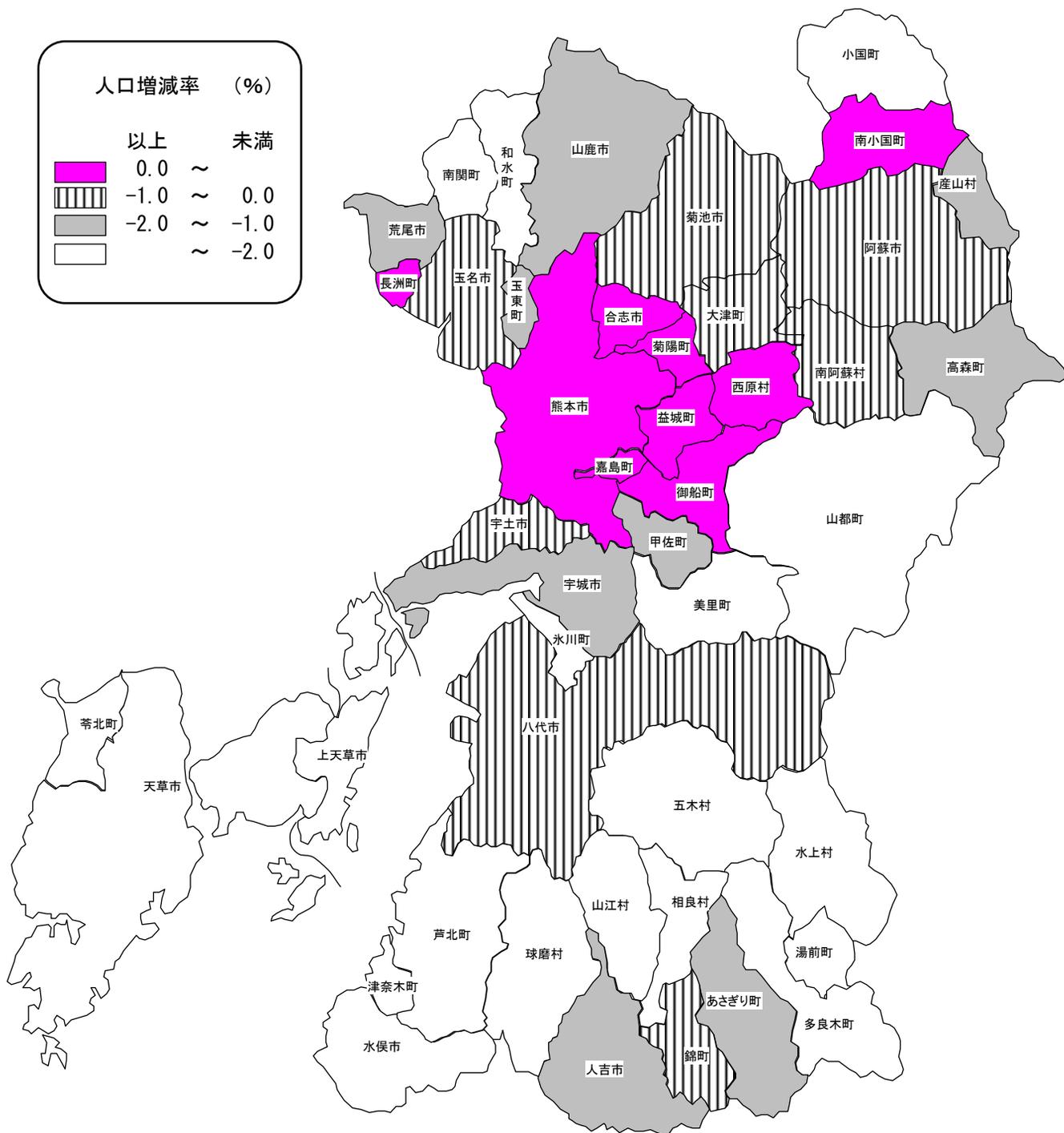
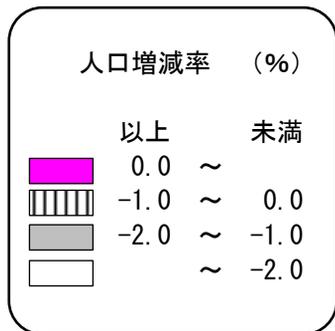
市町村別の人口増加率は、嘉島町(1.28%)が最も高く、次いで益城町(0.96%)、御船町(0.93%)、西原村(0.84%)、合志市(0.63%)、南小国町(0.41%)、菊陽町(0.35%)、長洲町(0.09%)、熊本市(0.02%)の順となった。

また、人口減少率は、球磨村(▲8.62%)が最も高く、次いで五木村(▲3.75%)、多良木町(▲3.33%)、小国町(▲3.30%)、上天草市(▲3.26%)等となっている。

【表4】人口、人口増減数及び人口増減率の上位5市町村

順位	人口(人) R5.10.1現在		人口増減数(人)			人口増減率(%)		
			増加	減少		増加	減少	
1	熊本市	738,020	合志市 397	天草市 ▲1,703	嘉島町 1.28	球磨村 ▲8.62		
2	八代市	119,330	益城町 314	八代市 ▲1,106	益城町 0.96	五木村 ▲3.75		
3	天草市	70,993	熊本市 170	山鹿市 ▲767	御船町 0.93	多良木町 ▲3.33		
4	合志市	63,434	菊陽町 156	上天草市 ▲765	西原村 0.84	小国町 ▲3.30		
5	玉名市	62,376	御船町 153	荒尾市 ▲707	合志市 0.63	上天草市 ▲3.26		

【図2】市町村別人口増減率



## 4 年齢3区分別人口 - 年少人口、生産年齢人口は減少が続いている

年齢3区分別にみると、年少人口は218,850人、生産年齢人口は936,677人、老年人口は552,220人で、人口に対する割合は、年少人口は12.8%で0.2ポイント低下、生産年齢人口も54.8%で0.1ポイント低下した。一方、老年人口は0.2ポイント上昇し32.3%となった。

【表5】年齢3区分別人口の推移(平成23年～令和5年)

年	年齢3区分別人口(人)			年齢構造係数(%)		
	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	年少 人口	生産年齢 人口	老年 人口
H23	249,787	1,096,811	465,904	13.8	60.5	25.7
H24	248,482	1,081,681	477,038	13.7	59.9	26.4
H25	247,205	1,064,935	489,355	13.7	59.1	27.2
H26	245,536	1,046,000	503,087	13.7	58.3	28.0
H27	241,167	1,024,400	511,484	13.6	57.6	28.8
H28	239,851	1,012,002	522,685	13.5	57.0	29.5
H29	237,600	997,447	530,471	13.5	56.5	30.0
H30	235,729	983,679	537,034	13.4	56.0	30.6
R1	233,212	970,978	542,550	13.4	55.6	31.1
R2	229,016	963,053	546,232	13.2	55.4	31.4
R3	226,678	950,926	550,797	13.1	55.0	31.9
R4	223,122	942,724	551,920	13.0	54.9	32.1
R5	218,850	936,677	552,220	12.8	54.8	32.3

【表6】市町村別年齢3区分別人口の割合(多い・少ない順に5位まで)

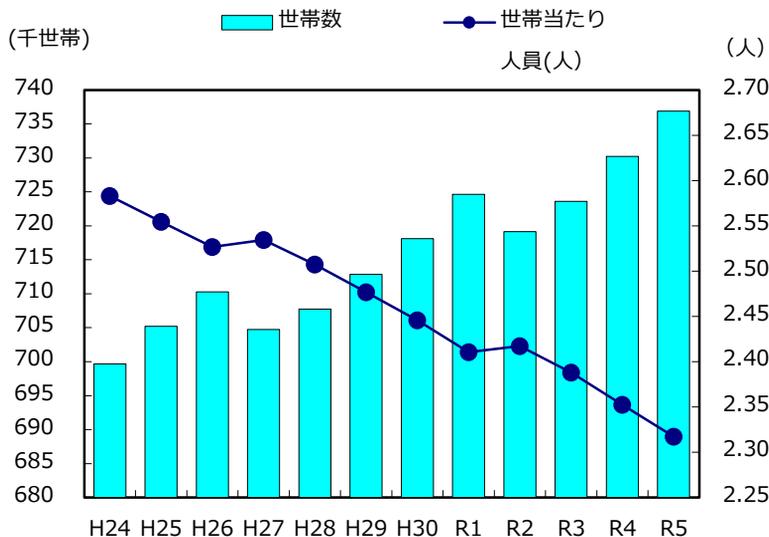
(単位:%)

順位	年少人口				生産年齢人口				老年人口			
	多い順		少ない順		多い順		少ない順		多い順		少ない順	
	市町村	割合	市町村	割合	市町村	割合	市町村	割合	市町村	割合	市町村	割合
1	嘉島町	19.0	美里町	7.2	菊陽町	61.8	山都町	37.9	山都町	53.5	菊陽町	21.8
2	合志市	18.5	五木村	7.4	大津町	60.9	球磨村	41.8	美里町	50.4	大津町	22.7
3	菊陽町	16.4	山都町	8.6	熊本市	59.6	美里町	42.4	五木村	49.4	合志市	24.5
4	大津町	16.3	球磨村	8.9	合志市	57.0	水上村	42.9	球磨村	49.3	嘉島町	25.6
5	益城町	15.9	苓北町	9.4	宇土市	55.6	五木村	43.2	芦北町	47.1	熊本市	27.3

## 5 世帯数 - 人口減に対し世帯数は増加、1世帯当たりの人員は減少

令和5年(2023年)10月1日現在の世帯数は、736,914世帯で、前年に比べ6,711世帯増加した。1世帯当たりの人員は、2.32人に減少した。(前年2.35人)

【図3】世帯数及び1世帯当たりの人員の推移



【表7】世帯数及び1世帯当たりの人員の推移

年	世帯数	世帯当たり人員(人)
H24	699,666	2.58
H25	705,198	2.55
H26	710,300	2.53
H27	704,730	2.53
H28	707,736	2.51
H29	712,872	2.48
H30	718,125	2.45
R1	724,654	2.41
R2	719,154	2.42
R3	723,607	2.39
R4	730,203	2.35
R5	736,914	2.32

※H27,R2は国勢調査の数値。他の年は国勢調査を基に推計。